

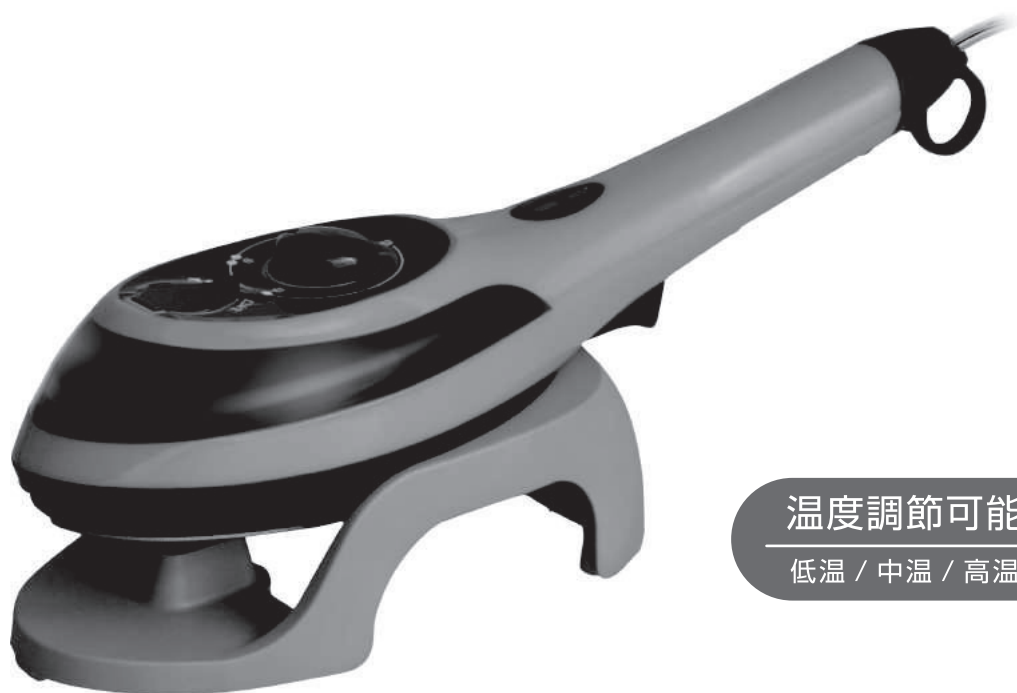
型番：LHR-601

ONLife

i スチーマー・ハンディアイロン

取扱説明書

スチーマーとアイロンの1台2役
急なお出かけ前の
シワ伸ばしなどにも大活躍!














温度調節可能




低温 / 中温 / 高温

- このたびは本品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- ご使用前にはこの取扱説明書をよくお読みになり、内容をご理解いただいた上で安全に正しくご使用ください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。

安全上のご注意

 <p>警告</p>	<p>誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。</p>	 <p>注意</p>	<p>誤った取扱をすると、人が傷害(※1)を負ったり、物的損害(※2)の発生が想定される内容を示します。</p>
<p>※1 傷害とは、治療に入院や長期の通院等を要しない、けがや感電等を示します。 ※2 物的損害とは、家屋や家財および家畜やペットにかかわる拡大損害を示します。</p>			
 <p>禁止</p>	<p>禁止(してはいけないこと)を示します。</p>	 <p>強制</p>	<p>強制(必ずすること)を示します。</p>

<p>警告</p>			
 <p>分解禁止</p>	<p>・絶対に分解・修理・改造は行わない。 ※感電・思わぬけがや製品の故障に繋がる恐れがあります。</p>		<p>・煙が出る、焦げくさい臭いがする等の異常・故障時にはただちに使用を中止し、プラグをコンセントから抜く。</p>
 <p>禁止</p>	<p>・子供等取扱に不慣れな方だけで使用させたり、乳幼児の手の届くところで使用しない。 ※感電や思わぬけがの原因となります。</p> <p>・コードやプラグが傷んだ場合や、コンセントの差し込みが緩い時は使用しない。 ※感電・ショート・火災の原因となります。</p> <p>・コードやプラグを破損するようなことはしない。 ※感電・ショート・火災の原因となります。</p> <p>・蛇口から直接注水しない。必ずカップをご使用下さい。 ※感電・火傷・ショート・火災の原因となります。</p>	 <p>強制</p>	<p>・必ず交流 100V で使用する。</p> <p>・プラグは根元まで確実に差し込む。</p> <p>・プラグのほこり等は定期的にとる。</p> <p>・お手入れは、ダイヤルを『切』にしプラグをコンセントから抜いた状態で、必ず本体が冷めてから行う。</p> <p>・コードの取り扱いには下記の内容を守る。</p> <p>※コードの誤った取り扱いは断線火災事故に繋がります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コードを本体に巻き付けない。 ●コードをドア等で挟まない。 ●コードの上に物を置かない。 ●コードを過度に曲げない。 ●コードをきつく束ねたり結んだりしない。 ●コードをねじらない。 ●コードを引っぱってプラグを抜かない。 <p>(必ずプラグ部分を持って抜いて下さい。)</p>
 <p>水場使用禁止</p>	<p>・浴室等の湿気が多い場所・水のかかる場所で使用しない。また、本体を水につけたり、水をかけたりしない。 ※感電・ショート・火災・故障の原因となります。</p>		 <p>本体</p> <p>コードはゆったりと束ね、本体から出るコードは無理なく延ばす。</p>
 <p>ぬれ手禁止</p>	<p>・濡れた手でプラグの抜き差しはしない。 ※感電の原因となります。</p>		 <p>本体</p> <p>コードをきつく巻いたり結んだりしない。本体から出るコードを過度に曲げたりしない。</p>

<p>注意</p>			
 <p>禁止</p>	<p>・スチームを顔や手足等、体につけない。※火傷の恐れがあります。</p> <p>・着用している衣類には使用しない。※火傷に繋がります。</p> <p>・落としたりぶつけたり乱暴な取扱いはしない。※感電・発火の原因となります。</p> <p>・本体を逆さにしたり激しく動かしたりしない。※火傷や水漏れの原因となります。</p> <p>・スチームボタンを連続して操作しない。※間隔をあけずに操作すると湯滴が漏れて火傷や衣類を傷める原因となります。</p> <p>・スチームの勢いが弱くなった場合は、スチームボタンを操作しない。※湯滴が漏れて火傷や衣類を傷める原因となります。</p> <p>・スタンドに置いている時はスチームボタンを操作しない。※火傷の原因となります。</p> <p>・本体のすき間に針金やピン等の細い物を差し込まない。また縫い針等を刺したままの布地等には使用しない。※針やピンが本体内部に入り、発火・故障の原因となります。</p> <p>・スタンドは熱に弱い物(じゅうたん・畳・ビニールクロス等)の上や不安定な場所に置かない。※けがや火傷、また敷物の損傷の原因となります。</p>		<p>・本製品を本来の使用目的以外には使用しない。</p> <p>・絶対に高温部に触れない。※火傷に繋がります。</p> <p>・アイロン面を人に向けて使用しない。</p> <p>・破損したら使用しない。</p> <p>・子供の手の届く場所に保管しない。</p> <p>・不安定な場所で使用しない。</p> <p>・タコ足配線はしない。</p> <p>・通電したまま放置しない。</p> <p>・引火性の物の近くで使用しない。</p> <p>・水以外の物をタンクに入れない。</p> <p>・使用中のアイロンを布地の上に放置しない。※火災の原因、また焦げや布地を傷める原因となります。</p>
 <p>強制</p>	<p>・使用後は必ず排水する。※タンクに水が残っていると、次回使用時に湯滴が漏れて火傷の原因となります。</p> <p>・置く際は必ずスタンドを使用する。 ※けがや火傷を防ぐために必ずスタンドをご使用下さい。</p> <p>・スチームを使用する際は、必ず温度ダイヤルをスチームの範囲に合わせる。※温度が低いとお湯が漏れる原因となり、火傷に繋がります。</p>	 <p>プラグを抜く</p>	<p>・使用時以外はプラグをコンセントから抜く。</p> <p>・持ち運ぶ場合は、必ず熱を完全に冷ましてプラグをコンセントから抜く。※感電・ショート・火災の原因となります。</p> <p>・注水/排水時は、プラグをコンセントから抜く。 ※感電の恐れがあります。</p>

使用上のご注意

内容を守らないと製品の動作に問題が生じたり製品本体の故障や劣化に繋がる注意事項、又その他の注意を示します。

- 初めてご使用の際にスチームに独特のにおいがある場合がありますが、製品に問題はありませぬ。ご使用を重ねることでにおいは解消されます。
- スチームと一緒に白い粉が吹き出る場合がありますが、これは水に含まれる成分です。本体の異常ではありません。衣類に付いた場合は、払って落として下さい。
- 稀にタンク内に水滴が残っている場合がありますがこれは出荷時の検品による物です。製品に問題はございませぬ。ご使用前に、数回スチームを噴射してから衣類へご使用下さい。
- 室温が低い場合、噴出口からお湯が漏れる場合があります。その場合は通電してランプが消えた後に少し時間をおいてからご使用下さい。
- タンクに入れる水は必ず水道水をご使用下さい。ミネラルウォーター等の使用は、タンク内の劣化や衣類の劣化に繋がる恐れがあります。
- タンクに入れる水量は最大約 100ml です。必ず容量をお守り下さい。
- ボタン・フック・ファスナー等の固い物に直接アイロンをかけないで下さい。かけ面を傷つける原因となります。
- 高温になる所、湿気の多い所、直射日光の当たる所への保管・放置はしないで下さい。
- 落とす・ぶつける等、製品本体に強い衝撃を与えないで下さい。
- お手入れの際のシンナー・ベンジン等の揮発性有機溶剤のご使用はご遠慮下さい。
- 保管する際はタンク内の水を排水し、本体を乾かして下さい。
- 本製品は一般家庭用です。業務用でのご使用はおやめ下さい。

使用上の注意とお願い

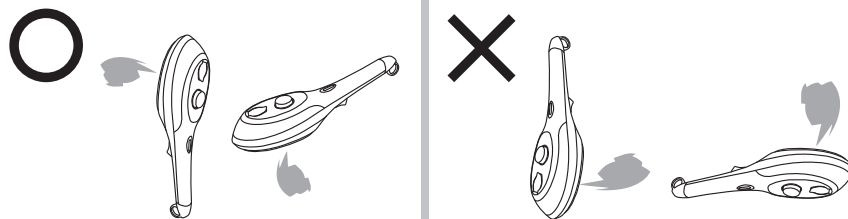
●初めてのお使いになるときは

- 最初の数分間、臭いや水滴、水蒸気が出ることがありますが、異常ではありません。ご使用と共になくなります。
- タンクの内部に水滴が付いている場合がありますが、製品検査によるものであり、異常ではありません。

●お願い

- 汚れや洗剤が洗濯物に残っている場合は、熱を加えると衣類が変色することがあります。よくすすぎ乾かしてからアイロンをかけてください。
- スチーム噴出時に白い粉が出ることがありますが、水に含まれる鉱物質で異常ではありません。
万が一衣類に付いた場合は、払っていただくと取れます。
- 使用中、「カチツ」と内部から音がする場合がありますが、自動温度調節器（サーモスタット）が作動している音で異常ではありません。
- ボタン、フック、ファスナーなど固いものには、直接かけないでください。
- アイロンかけのときは、アイロン台から製品をはみ出さないに注意してください。

※本体は垂直に立てた状態
または水平にした状態
ご使用ください。
逆さやかけ面が上向きでの
ご使用はおやめください。









繊維製品の取り扱いとご使用の目安

本製品は「ドライアイロン」「スチーマー」としてお使いいただけます。

ドライアイロン	アイロン台を使用してスチームを使用しないでアイロンがけします。ワイシャツの襟や袖のノリづけに
スチーマー	衣類をハンガーに掛けながらスチームとかけ面を使い仕上げます。ちょっとした洗いジワや座りジワに

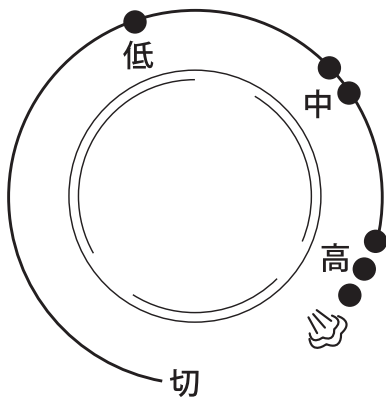
衣類に日本工業規格（JIS）で定められた絵表示がある場合は、以下の表を参考にしてください。

絵表示	 低	 中	 高
布地・繊維の種類	アクリル・アクリル系 ポリウレタン ポリプロピレン	絹・毛・ナイロン・ビニロン レーヨン(長繊維) キュプラ・アセテート ポリエステル	綿・麻 レーヨン(短繊維) ポリノジック

絵表示の見かた		指定された温度であて布をする意味です。
		指定された温度で布地の裏からかける意味です。
		アイロンかけはできません。
	その他「スチーム禁止」などの表示がある場合は必ずその指示に従ってください。	

- 絵表示がある場合、絵表示に合わせてください。
- 絵表示のない場合、繊維名に従い温度を合わせてください。
混紡の場合、低いほうの繊維温度に合わせてください。
- 熱に弱い繊維（絹・毛・化繊など）は、あて布をするか、目立たない部分にためしかけをして異常がないことを確認してください。
- 極端にゆっくり動かしたり、アイロンを止めたりすると、布地に合った温度であっても布地を傷つけることがありますので、ご注意ください。
- ビニロンに湿り気を与えてアイロンかけをしないでください。

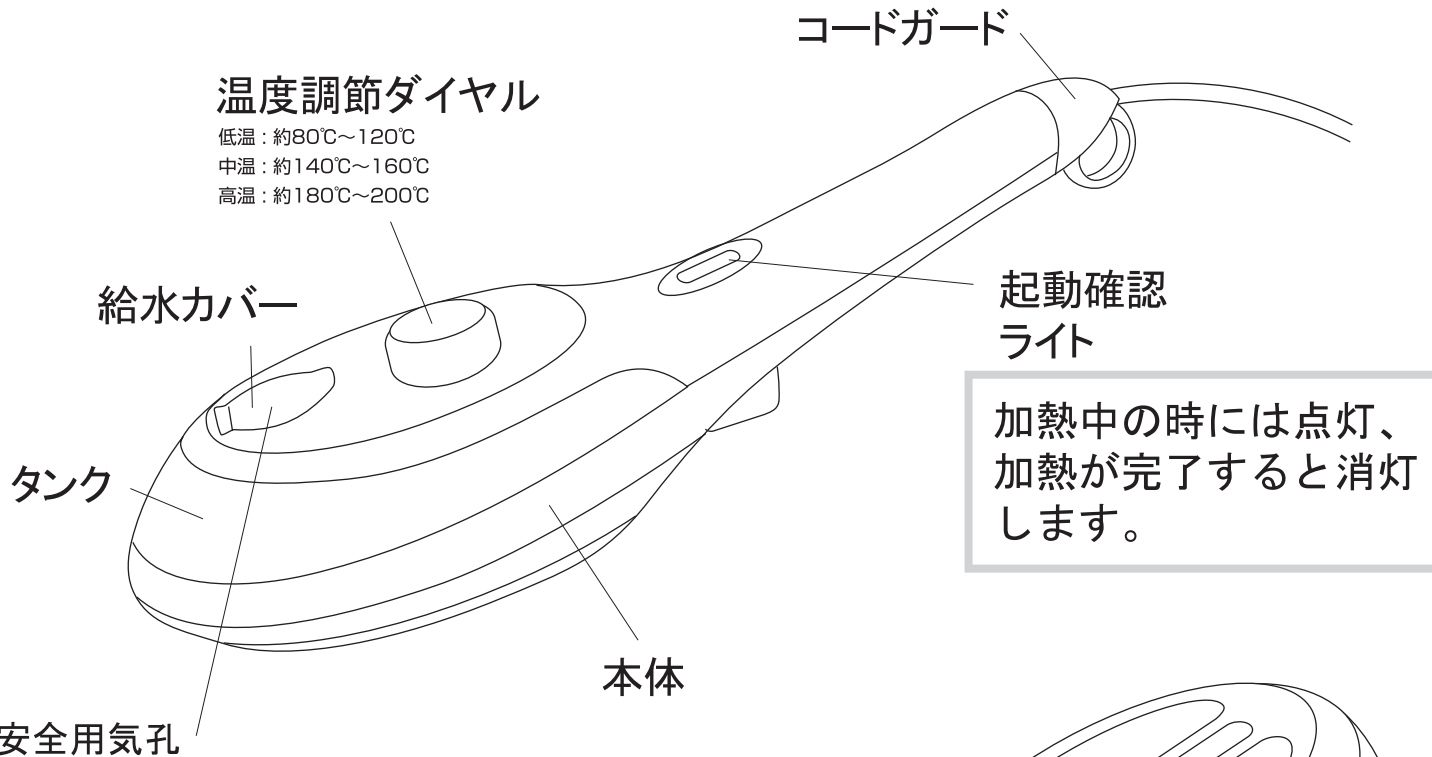
各部の名称



絵表示と温度の関係

絵表示	低	中	高
布地・繊維の種類	アクリル・アクリル系 ポリウレタン ポリプロピレン	絹・毛・ナイロン・ビニロン レーヨン(長繊維) キュプラ・アセテート ポリエステル	絹・麻 レーヨン(短繊維) ポリノジック
温度設定位置	低	中	高
かけ面の温度範囲	約80℃~120℃	約140℃~160℃	約180℃~200℃
設定温度到達時間	約20秒	約30秒	約40秒

※設定温度到達時間は、本体が冷めている状態からの時間の目安です。また室温等によって異なります。
※絵表示が無い生地には、温度調整ダイヤルを「低」に合わせてご使用下さい。



加熱中には点灯、加熱が完了すると消灯します。

加熱中、絶対穴を塞がないようにしてください。
電源を切った後には、本体を傾けると本体の穴から水滴が出て来ることがあります、商品の不良ではありません。
完全に本体が冷めた後に収納してください。

パワフルスチームスイッチ

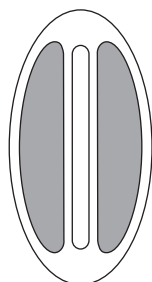
スチームボタンを押すと、約1秒程度スチームが出ます。約3~5秒間隔で押してください。

アタッチメント取り外しレバー

これを押すと、アタッチメントを取り外すことができます。

付属品

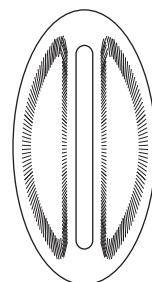
①



毛玉ブラシ
アタッチメント

ほこりや小さなゴミを取るときに使います。

②



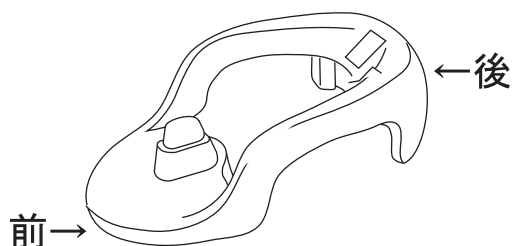
毛ブラシ
アタッチメント

糸くずや大きなゴミを取ったり、繊維の流れを整えたりする時に使います。

用途にあわせてブラシを取り付けます

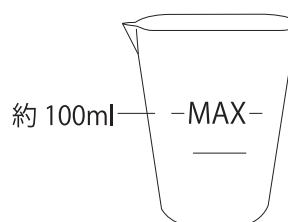
毛玉ブラシアタッチメント：スチーマー使用時小さなゴミを取るときに使います。

毛ブラシアタッチメント：スチーマー使用時カーテン、ソファ、糸くずや大きなゴミを取るときに使います。



専用スタンド

通電後に本体を置く場合は必ずこの専用スタンドに置いてください。



計量カップ

蛇口から本体タンクに直接給水せず、必ず計量カップを使用して給水してください。



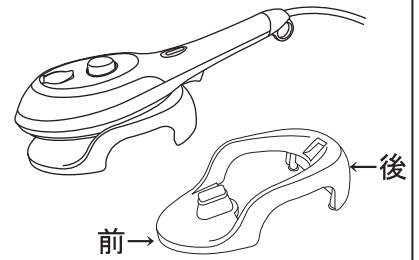
お手入れブラシ

毛ブラシと毛玉ブラシのお手入れに使用します。

ご使用前に

アイロンを置く場所は、必ずスタンドをご使用ください。

ご使用中、本体を置く場所は、必ずスタンドをご使用ください、布地の上やテーブルの上等に放置すると、焦げの原因となります。また、火傷や火災の原因となりますのでご注意ください。



※スタンドは熱に弱い物(じゅうたん・畳・ビニールクロス等)の上や不安定な場所に置かないでください。けがや火傷、また敷物の損傷の原因となります。

※アイロン台に乗せる方向は必ずこの方向を守ってください、アイロンが倒れる原因となります。

アタッチメントの取付け方 / 取外し方

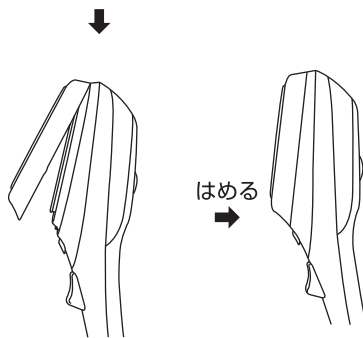
ハンディースチーマーとして使用する際に、アタッチメントを取り付けると衣類のほこりやゴミをとる事ができます。必要に応じて取り付けてご使用下さい。

●取付け

はじめにアタッチメントの上部を引っ掛け、その後下部を押して本体に取り付けて下さい。

※アタッチメントの取り付け・取外しは、プラグをコンセントから抜き本体が冷めた状態で行ってください。

上部を引っかける



●取外し

矢印の方向に取り外しボタンを押して下さい。

※ドライアイロンの際はアタッチメントを外してください。

取外しボタンを押す



注水方法

※ドライアイロンで使用する場合は、注水の必要はありません。

※稀にタンク内に水滴が残っている場合がありますがこれは出荷時の検品による物です。製品に問題はございません。ご使用前に、数回スチームを噴射してから衣類へご使用下さい。

※タンクに入れる水は必ず水道水をご使用下さい。ミネラルウォーター等の使用は、タンク内の劣化や衣類の劣化に繋がる恐れがあります。

※蛇口から直接給水しないで下さい。必ずカップをご使用下さい。感電・火傷・ショート・火災の原因となります。

※注水・排水時に、プラグをコンセントから抜いて行ってください。

- キャップを開け、カップを使用して注水口から注水して下さい。
- 一回の最大注水量は約 100ml です。超えないようにご注意下さい。
- 注水はタンクが空の状態で行って下さい。タンクに水が残った状態で注水すると、容量を超えて水が漏れる原因となります。



ご使用方法



注意

※使用不可な布 革製品や人工皮革製品、特殊加工品、スチームで傷む恐れのある絹や着物等には使用しないで下さい。

スチームアイロンを使用する

- ウール素材やセーター等のシワを伸ばしふわっと仕上げたい時に
- プリーツスカートやズボンの折目に

- ①タンクへ水を注ぎます。(一回目に入れる水はカップのMAXラインまで入れます。)
- ②温度ダイヤルをスチーム(中温～高温)に合わせます。⇒ランプが点灯します。
- ③ランプが消えたら使用できます。

●約5cm布から離し、スチームボタンを押してスチームを衣類にあて、かけ面で撫でながらシワを伸ばしてください。

●約3～5秒間隔でスチームボタンを押してスチームを出してください。

●ご使用後は、ダイヤルを「切」にして、プラグをコンセントから抜いてください。

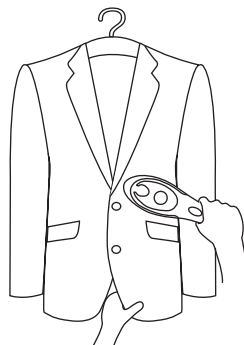
●水がなくなった場合は、一度ダイヤルを「切」に回し、プラグをコンセントから抜いて注水して下さい。

※必ず目立たないところで、試してからご使用ください。

※ウールやカシミア等の起毛性衣類にかけ面を近づけて使用すると、

毛並みが乱れて変色したように見えてしまいますので、ご注意ください。

※頑固なシワには、生地を引っ張りながらスチームをあてるとシワがとれやすくなります。



約5cm布から離し、スチームを衣類にあて生地を引っ張り、撫でながらシワを伸ばしてください。

こんな時!?

スチームがでない。	スチームボタンを押してもスチームが出ない場合は、タンクに水を満タンにして給水カバーをしっかりと閉めてください。本体を上下左右に4～5回振り、再度スチームボタンを3～4回押してください。
排水した際、湯滴・水が漏れる。	タンクに残った水を捨てる際は、完全に本体が冷めた事を確認し、給水カバーから排水してください。

※【スチームを出す際の注意】スチームを出す際は、約3～5秒間隔でスチームボタンを押してください。ランプが点灯している時や3秒間隔よりも早くスチームボタンを操作すると、湯滴が出て火傷や衣類を汚す原因となりますのでご注意ください。

※使用中のアイロンを布地の上に放置しないでください。火災の原因となります。また焦げや布地を傷める原因となります。

※始めてご使用の際にスチームに独特のおいがある場合がありますが、製品に問題は有りません。ご使用を重ねることでにおいは解消されます。

※スチームと一緒に白い粉が吹き出る場合がありますが、これは水に含まれる成分です。本体の異常では有りません。衣類に付いた場合は、払って落としてください。

ドライアイロンを使用する

- 綿や麻素材のシワをとる時に
- 合成繊維等に

- ①プラグをコンセントに差し込みます。
- ②温度ダイヤルを回すと通電しランプが点灯します。※使用する際繊維に合わせて温度設定を行ってください。
- ③ランプが消えたら使用できます。

●アイロンを水平に滑らせて、衣類のシワを伸ばしてください。

●ご使用後は、ダイヤルを「切」にして、プラグをコンセントから抜いてください。

※使用中のアイロンを生地の上に放置しないでください。火災の原因、また焦げや生地を傷める原因となります。

※繊維にあった温度に合わせてください。

※ボタン・フック・ファスナー等の固い物に直接アイロンを掛けしないで下さい。かけ面を傷つける原因となります。

※ドライアイロンを使用する際は、タンクに水を入れる必要は有りません。

※高温から低音に変える場合は、一度ダイヤルを「切」にし、本体を冷ましてから変えて下さい。

※必ず目立たないところで、試してからご使用ください。

ご使用後のお手入れ・保管

- ※お手入れは、ダイヤルを『切』にしプラグをコンセントから抜いた状態で、必ず本体が冷めてから行って下さい。
- ※シンナー・ベンジンなどの揮発性有機溶剤のご使用はおやめ下さい。
- ※本体を水につけたり、水をかけたりしないで下さい。
- ※使用後は必ず排水して下さい。タンクに水が残っていると、次回使用時にお湯が漏れて火傷の原因となります。

- タンクに残った水を捨てて、乾かしてから保管して下さい。
- 本体に汚れ等がある場合は、お手入れをして下さい。
 - ・本体の汚れは乾いた柔らかい布等で拭いて下さい。・かけ面の汚れは、水を含ませてかたく絞った布等で拭いて下さい。
 - ・噴出口についているゴミ・水垢などを針やつまようじなどで取り除いてください。

仕 様

寸 法	約W8.5×D7.5×H34.5cm	電源方式	交流式
コード長	約150cm	定格電圧	100V
本体重量	約600g	定格周波数	50/60Hz
使用時水量	約100ml	定格消費電力	880W
温度ヒューズ	240℃	温度範囲	約80~200℃

※商品の仕様及び外観等は、予告なく変更することがあります。

故障かな？と思ったら・・・

こんな時は？	スチームが出ない	スチーム量が少ない	スチームの噴出口のつまり	熱くならない	本体から水漏れ	対処方法
電源プラグ 温度ダイヤル	○			○		コンセントにプラグを完全に差し込んで下さい
	○					一度ダイヤルを「切」にして再度ダイヤルを戻して下さい
スチームボタ ン タ ン ク	○	○				ご使用の前に3~4回押して下さい
	○					アイロンを下に向けスチームボタンを何回も押して下さい
					○ ○	約3~5秒に1回の間隔で押して下さい 注水キャップをしっかり閉めて下さい
	○	○				再注水して下さい
スチーム噴出口	○	○	○			お手入れ方法をご参照下さい
	○					プラグを抜き完全に冷めてから 3~4回本体横を優しく叩いてください
そ の 他					○	完全に本体が冷めた事を確認し、給水カバーから排水して下さい。
	○					タンクに水を満タンにして給水カバーをしっかり閉めてください。本体を上下左右に4~5回振り、再度スチームボタンを3~4回押して下さい。

上記に従い、確認対処しても原因がわからない場合や、その他の異常がある場合は、お買上げの販売店に修理をご依頼下さい。

保証とアフターサービス

保証書（添付付）

保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上販売店から受け取りください。

保証期間は、お買上げ日から1年間です。ただし、消耗品は、別途購入になります。

修理また交換に関してのお問い合わせ先：

オンライン生活株

〒454-0015 名古屋市中川区南八熊町7-26

電話：052-265-5236 F A X：052-265-5238

E-mail：info1@on-life.co.jp